

市内一斉避難訓練を振り返って

南海トラフ巨大地震に備える

須崎市では、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、昨年12月15日午前9時から市内一斉での避難訓練を実施しました。訓練の結果、参加者の意見・感想をご紹介します。今一度、地震に備えての準備を考えてみませんか。

今回の訓練では、避難場所・

経路などの検証を行いました。同時に、早期避難率を算出するため想定地震発生から、10分後・20分後・30分後の避難者数を計測。訓練当日は、2,000人近い参加がありました（参加者数の詳細は、下記表のとおり）。

訓練参加者は、避難対象者

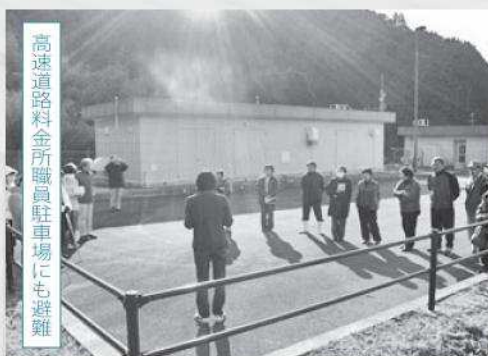
数の約1割の参加にとどまりました。まだまだ参加者数が少ない状況です。いざというときに迅速に行動を行うためにも、次回の訓練には、多くの皆さんのご参加をお願いします。

また、訓練時に緊急地震速

報などの情報伝達手段に不備があり、市民の皆さんにご迷惑をおかけしました。このことも踏まえて、検証を行ったうえで、点検などを強化し、対策を推進していきます。



札幌神社に集まった市民



高速道路料金所職員駐車場にも避難



須崎工業高校へ避難する様子

市内一斉避難訓練の参加者数

地区名	避難者数（人）			避難対象者数（人）※	地区別避難率（%）
	10分後	20分後	30分後		
須崎地区	282	540	606	5,708	10.62
多ノ郷地区	175	486	548	7,847	6.98
新荘地区	178	265	313	1,263	24.78
安和地区	37	140	168	754	22.28
南地区	40	81	82	1,241	6.61
吾桑地区	40	86	111	550	20.18
上分地区	30	48	48	419	11.46
浦ノ内地区	41	66	78	2,079	3.75
計	823	1,712	1,954	19,861	—
避難率（%）	4.14	8.62	9.84	—	—

※避難対象者数については、高知県が発表した最大クラスの地震津波により、浸水する地域の人口です（平成25年11月末現在）。また、訓練参加人数については、地域の高台など、人数が計測できない場所は含まれていません。